



発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722



大阪府消防操法 訓練大会

9月6日(日) 晴れわたる残暑の中、第53回大阪府消防大会が万博記念公園にて開催され、我中河内地区が総合優勝を獲得しました。また、八尾市消防団は初のポンプ車操法に、南高安分団が出場しました。

初めて経験するポンプ車操法の各地区のレベルの高さ、仕上がりにも劣ることのない完璧な状態で大会に挑みましたが、タイム的にはクリアー出来ても会場の雰囲気による緊張からか、今一歩及ばず、入賞こそ逃したものの大変素晴らしい操法を披露する事が出来ました。

操法訓練中には消防本部の情熱ある指導を始め、消防団長、団幹部、各分団、諸先輩方の皆様の心温まる激励には南高安分団一同感謝しております。

思い起こせば4月、大会に向けての操法訓練が始まり、深夜までビデオによる操法のチェック、鏡に向かって各個動作の確認を行う日々が続きましたが、終わってみればあつと言う間の5カ月間でした。

この操法訓練で、南高安分団の絆がより一層強く結ばれた事が、今後の消防団活動において有意義な物となり、後輩たちに受け継がれていく事が何よりの収穫です。

最後に選手の皆さん、暑い中の操法訓練、大変ご苦勞様でした。

南高安分団 川崎 義正



新団員紹介

4月1日(水)、消防団員の
任命式が挙行され、54名(内2
名6月1日入団)の新団員が誕
生しました。

西郡分団



澤田吉行



武田修治



内田一博

久宝寺分団



田口裕晃



堀雄太



高田卓

曙川分団



磯田剛大



堤明義



金武正亮



清水克行

大正分団



上村一



戸澤勝彦



辰巳壽雄

南高安分団



西尾良彦



西尾克徳



畑中浩



坂本敦



馬谷泰樹



結城徳亮



松倉純一



坂上大介



坂本裕規



浅井康広



松村基輝



山川修一



山下健一



田ノ岡純平

龍華分団



妹尾吉哲

八尾分団



鈴木卓也



西野剛史



津村佳秀



奥野幸生



錦織栄夫

高安分団



米澤晃尋



樋口雄一



平井健二



稲本篤彦



五枝伸浩



平田和央



山下直樹

志紀分団



藤田康二



川田修



永野尚弘



米田卓司



竹田哲郎



中川貴哉



谷口裕二



野口稔



森本道明

山本分団



伊達悠樹



野本和裕



坂本佳津彦



池田正勝



樋口徳次

木村重成祭

6月5日(金) 幸町「幸第二公園」にて、今年も木村長門守重成候の慰霊祭が行われました。

木村長門守重成候は大阪夏の陣で豊臣秀頼の武将であり、6月2日に戦死したとされています。若江にあった墓を治水工事のために、今の幸第二公園に移転したのが6月5日で、それ以来この慰霊祭は毎年行われています。この木村長門守重成は当時、「智・仁・勇」の三徳を兼ね備えた武将と言われており、最後の出陣の際も髪を洗い香を焚きこめていたことから、家康が彼の首実験をしたところ、非常に感心して「今は5月の初めというのに、首にいささかの臭気もなく、香を焚きこめたのは勇士のよき嗜みである、皆もここに来てその薫りを嗅いでみよ。また兜の緒の端を切り落としてあるのは討死にを覚悟した証拠、素晴らしい勇将である」と褒めたという。

今ではこのお墓は勝負のご利益があるといわれており、全国から多くの方がお参りに来られています。
西郡分団 分団長 河野 光春



分団紹介・名物団員

名物団員

今回、曙川分団の名物団員としてぜひとも紹介させて頂きたいのは松田悦治さんです。

松田さんの消防団歴は11年目で、副分団長として吉川分団長と共に日々防災活動や訓練に尽力しております。職業は水道工事業です。

分団内での松田さんは、気は優しく力持ちでいつも他の団員に対する配慮を忘れない頼りになる「縁の下の力持ち」的な存在です。

プライベートでは最近、自宅の庭での野菜作りという温厚な性格にぴったりの趣味にはまっておられ、毎日の手入れは大変らしいですが、美味しく育った野菜を収穫し、家族皆で食べるのが一番の楽しみとのこと。

曙川分団としては今後も松田さんに11年間の豊富な経験を活かしてリーダーシップを発揮して頂き、消防団活動を通じて地域社会に貢献できるよう、団員一丸となって努力していきたいと思っております。



分団紹介

我々曙川分団は、現在19名で消防団活動を行っています。

管轄地区は、小学校区で曙川、曙川東、刑部、南山本、高美(一部地域)、高美南(一部地域)です。

分団の定期的な活動としては、月1回の会議をかねた管轄地区のパトロール、各小学校区単位での防災訓練や各自治会への広報活動などを行っております。

曙川分団 高田 光陽
杉田 昌己



分 団 訓 練

7月12(日)八尾市消防本部屋外訓練場において、警防課員指導のもと橋本分団長以下8名が参加し、ポンプ及び資機材の取り扱い訓練を行い、最後に積載車からの放水で訓練を終了しました。



この日は猛暑の中4名一組で車両からホースを延長し標的を落下させるまでの訓練をしましたが、頭の中で理解していても実際にやるとなかなかうまく行動出来ない事が多く、体に覚えさせる為、反復訓練の重要性を痛感しました。

分団としても定期的に訓練を

行い、いざという時に安全かつ迅速な活動が出来るように頑張っていきたいと思えます。

八尾分団 中村 佳照
今井 隆

ファミリ-懇親会

大正分団恒例の行事であるファミリ-懇親会を、6月7日(日)当分団の団員である太田分隊乾部長の倉庫で開催しました。

日頃、消防団活動にご理解・ご協力をしてもらっている家族並びに関係者の方々に、感謝の意味を込めて、今回、阪本方面隊長の計らいでサプライズゲストとして、元全日本女子バレー部監督 柳本氏が特別に参加しました。

また、他方面から久田副団長、畑中副団長をはじめ、多数出席して頂き有意義な時間を盛んにごできたことを感謝し、次年度以降も今年以上に家族、関係者が楽しめる企画を嶋野分団長以下、大正分団全員で考えていきますので、他分団の方々の出席もぜひお願い申し上げます。

大正分団 竹田 隆誠



第32回八尾河内音頭まつり

8月29日(土)八尾河内音頭まつりが盛大に執り行われました。

天気予報では午前中一時雨でしたが、幸い雨には祟られず72団体の人々が河内音頭まつりパレードに参加されました。

天候が曇りだった事もあり日射しが例年より弱く、そのおかげで参加者はいつもより熱い踊りをされているようでした。

八尾市消防団は沿道警備の任務につき、今年は天候が曇りと



はいえ、暑さは厳しく大変疲れしました。しかし、パレードに参加されている人達が、暑い中ががんばっている姿を見て、我々も沿道警備に力が入りました。

パレードには有線放送やインターネットで生放送され、パレードが終わる頃には八尾小学校のグラウンドで盆踊り大会が始まり、河内音頭まつりパレードは無事に終了しました。

暑い中、警備されていた皆様には心よりお礼申し上げます、今後も消防団活動にご活躍される事をお願い申し上げます。

八尾分団 分団長 橋本 修

**消防団員
指導者特別研修を
受講して**

平成21年4月12日(日)大阪府立消防学校において指導員研修並びに指導員特別研修が実施され、私は副団長を対象に訓練儀式に重点をおいた特別研修に参加させて頂きました。

まず消防組織法による訓練儀式で、①個人の規律心の向上、确实軽快な動作及び態度の練成②指導者としての指揮能力と教育能力の育成③団結力、規律、指揮並びに共同動作の育成④和衷共同を目的とした車輛、機械器具の愛護及び整備を学びましたが、いざとなれば私自身も緊張のあまり号令ミスをすることもありました。

その他多くの講義、実習を経験し、今更のように幹部一人一人が気を引き締めて後輩団員の指導にあたるべきと痛感するとともに、服装の乱れは心の乱れに通じ、制服着用時はさらなる自覚が必要と自分に言い聞かせました。

今回の研修は各市町村の分団数等で参加人数が制限されていたが、今後はより多くの幹部が

参加できる研修会であればと思います。

副団長 久田 弘義

恩智川水防訓練

4月18日(土)東大阪市の花園中央公園にて、恩智川水防訓練が行われました。

今回は、せき板工の訓練で、増水が激しく流水が堤防を越えそうになっている時に行われる工法です。内容は、土のうを作り、杭を打ち込み、板を張り、杭と板を番線で止め、中詰め土のうを詰め、土のうと土のうの間に入土を入れ蟻で突き固め、杭と杭の上部を番線で結ぶという手順で作業が行われました。当日は暑い日ではありません



でしたが、作業を分担したにもかかわらず、訓練に参加した全団員が気持ち良い汗を流しました。

今回の訓練を活かし、災害時には、被害を最小限におさえられるよう、今後も訓練に参加し、技術の修得に努めたいです。

志紀分団 山口 通伸



藍綬褒章の栄誉に欲して

消防団員を拝命して38年になりますが、この度、平成21年春の褒章に際しまして、藍綬褒章を受章させて頂きましたこと、誠に有難く、ご指導いただきました先輩諸氏並びに団幹部の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、去る5月1日に大阪府公館におきまして橋下知事より褒章・章記の伝達を受け、5月19日に皇居へ参内して天皇陛下に拝謁の栄を賜り、感激の極みでございました。

この間、皆様にご指導戴きました多くのことを、ただ一生懸命走り続けて当たり前のよう実践してきましただけの様にもいいます。

それだけに、この度の褒章は、皆様を代表して戴いたものと考え、これからも微力ではありますが、八尾市の安心・安全のために地域防災力の強化に努め、この栄誉に恥じることのない様一層責務に邁進する所存であります。

副団長 久田 弘義



初任・幹部教養講習会

5月31日(日) 大阪府立消防学校にて消防団員教養講習会が実施されました。

当日はあいにくの天候で午前中は室内にて開講式が行われ、引き続き消防の歴史やAEDの説明などがパワーポイントを用いて行われました。最近のAEDは音声での説明がなされるので取り扱い自体は簡単になっているのですが、いざ倒れている人を目の当たりにしたときに適切な動きが出来るのかと思うと日ごろからの心構えが大切だと痛感しました。

昼食も済み午後からは晴天にめぐまれ、グラウンドで礼式を行い「半ば右向け右」等始めて知る号令などもあり感心しながら講義をうけていました。

その後ホース延長方法、巻き方、放水方法等の訓練を行いました。腰で巻いていく為普段の運動不足を実感し今後体力をつけて行く必要があると改めて思いました。

今回一日ではありませんでしたが講習会を受けて学んだ事はしっかりと今後の団活動の中に生かして

て活動の取り組みを行っていきま

西郡分団 澤田 吉行



幹部視察研修

平成21年6月24日(水)消防団幹部視察研修のため、和歌山県海南市にある関西電力(株)海南発電所を視察しました。

海南発電所は海南港埋立地の一部に約31万㎡(甲子園球場の約8倍)の敷地に建設された、石油を燃料とし、蒸気の利用した火力発電所です。作られた電気は近畿一円に送られています。発電所では、エネルギーの有効利用、水質汚濁や大気汚染の防止対策、近隣の地域社会との交流、そして、防災に関しては自衛消防体制を確立し、常に防災訓練の徹底を図っている。防災・安全のための活動を行っているそうです。

当たり前のようにあると思っ

取り組んで、私達の生活を守って

龍華分団 分団長 岸 孝



中河内地区支部総合訓練

8月23日(日) 青空の中、大阪府消防操法訓練大会の前哨戦とも言える中河内地区支部消防総合訓練が東大阪市立加納小学校で開催されました。徒歩部隊、車両部隊分列行進の後、東大阪消防団の小型ポンプ操法に続いて、八尾市消防団初のポンプ車

操法が南高安分団により披露されました。

まずは、警防課職員と分団全員による気合の入った円陣、そして選手整列、支部長への開始報告を経て、いざ操法開始!

選手は参加者による大歓声を背に受け、緊張することもなく日頃の訓練の成果を発揮し、無事に操法を終了しました。

当日は暑さの厳しい中でしたが、操法はもつとアツいものを感じさせて頂きました。

本訓練に参加された消防本部職員、八尾市消防団の皆様、本

南高安分団 川崎 光昭



第53回大阪府消防操法訓練大会 南高安分団選手紹介

指揮者 竹澤 寛



9月6日大阪府消防操法訓練大会において、ポンプ車操法で出場しました。結果としては残念な

ら。今春4月21日から訓練を開始し、右も左もわからない我々5人の選手を大舞台へと導いて下さった、南高安分団、警防課の皆様、お手伝い頂いた曙川分団の皆様方の連帯感、感謝と共に誇りに思えました。その中で選手として出場させて頂いたことに感動を覚えるこの想いを少しでも今後に繋げられる様、努力していく所存です。最後に同じチーム4人の選手にありがとう!!

1番員 浅井 孝一



「生まれ」と指揮者の大きな声が響き渡ると同時に先輩団員と消防本部職員の間、眼差しが我々4人の

足元に注がれているというのが訓練の第一印象でした。その眼差しは大会当日まで変化する事はなく、我々を見守ってくれていました。また先輩、同僚、後輩が操法の前に様々な準備を行い、僅か指一本の長短を調整しホースを巻き、我々選手が操法に集中し取り組める環境を作り、いかなる状況でも大きな声援を送り勇気づけて頂き、訓練を

積み重ねるごとに少しずつ操法というものも理解出来たと感じます。

最後になりましたが、数多くの人の支えにより最後までやり抜く事が出来たと感じています。ありがとうございました。

2番員 北本 晃



今回、ポンプ車操法に出場し、規律、各個動作の大切さ、操法における選手同士の連携、仲間たちの

のアツい思いや警防課、先輩方の熱意のある指導と厳しさは、訓練の回を重ねるごとに伝わるものがありました。また、訓練の度に設営をして頂き、何度もホースを巻き直してもらったこと、思い返せば、皆様のご協力があったからこそ、辛く苦しい訓練を最後までやり遂げることができたと感じています。ありがとうございました。今後、学んだ「想い」「経験」は、しっかりと先輩団員に伝えて行きたいと思えます。

3番員 山口 泰憲



4月から大会当日までの毎週3日間の訓練の際、警防課、分団の皆様より絶大なご指導を頂いたお陰で、悔いの残らない操法が出来まし

た。大会までの訓練中は辛い時も苦しい時もありましたが、どんな時にも皆様に支えられて応援して頂きました。その中で私が学んだことは「絆」と言う言葉でした。残念ながら入賞は逃しましたが、この経験を活かし、後輩団員たちに色んなことを伝えて行きたいと思えます。最後になりましたが、このような機会を与えて頂いた警防課、南高安分団の皆様、ありがとうございました。

4番員 西山 勝博



選手の間、警防課、南高安分団の皆様、5ヶ月の間、選手と同じ目線になって頂き、時には叱咤

激励して下さるほどの熱意、常に素晴らしい訓練環境を作って頂き、万全の体勢で大会に臨ませて頂いたこと、本当に感謝しています。そんな皆様と素晴らしい結果を出し一緒に喜びたかったのですが、ちから及ばず残念な結果となり申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、自分としては大会まで一杯がんばり、持てる力は出し切れたので納得しています。次に南高安分団が大会に出場する際は、今回の経験を活かし次の選手と共にもしっかりと素晴らしい操法に磨きあげ、皆様と一緒に喜びたいと思えます。最後になりましたが、今回の操法参加にあたりご指導、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

● 広報部員名簿 ●

委員長

久宝寺分団

志村 武

副委員長

龍華分団

山口 年

高安分団

谷口 秀

委員

久宝寺分団

松本 圭司

西郡分団

上田 真二

八尾分団

澤田 吉行

龍華分団

兼山 佳隆

大正分団

小林 邦章

曙川分団

竹田 隆誠

南高安分団

杉田 昌己

高安分団

高田 光陽

山本分団

川崎 義昭

志紀分団

川崎 光昭

山本分団

寺脇 克夫

高安分団

山脇 孝一

山本分団

山本 剛

川崎分団

川崎 健一

竹田分団

竹田 剛

山本分団

山本 剛

山本分団

山本 剛

編集後記

皆様のご協力のもと、第24号を発刊することが出来、大変感謝しております。次号もよろしくおねがいたします。

志村 武